



一人一人が安心して自分のよさを発揮できる学校

今成小だより



令和5年11月1日発行

いよいよ 50 回目の誕生日

今月17日には、今成小学校開校50周年の記念事業が執り行われます。50年という節目の年を、子どもたちを中心にしながら、地域、保護者の皆様とともにお祝いしたいと考えています。当日の主な内容は以下のとおりです。

- | | |
|------------------------------------------------------------------|-------------------|
| (第1部)「記念式典」子どもたちのアイディアで今成小 50 周年を祝福 | 参加者:児童 |
| (第2部)「今成っ子まつり」出店形式でのお楽しみ | 参加者:児童・保護者 |
| (第3部)「記念の集い」さらに多くの人でお祝い 吹奏楽の演奏、お囃子、レクリエーション、
雨天中止 バルーン・リリースなど | 参加者:児童・保護者・地域の皆さん |

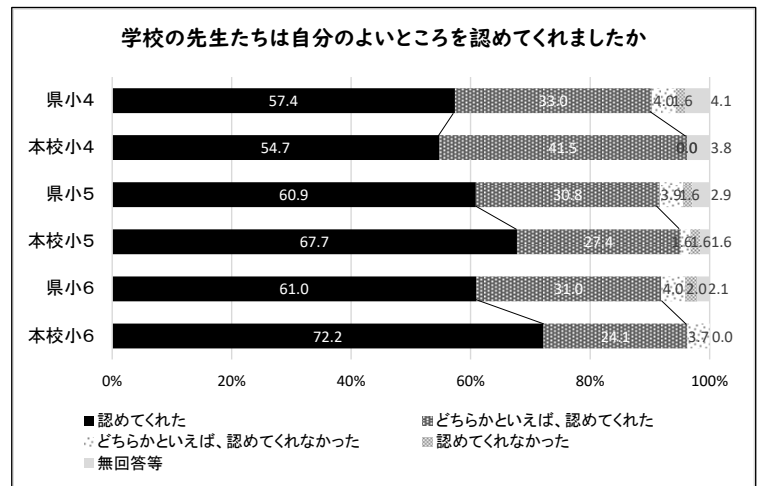
今回の記念事業については、当初より「子どもたちの手でつくり上げる取組に」という方針で進めてまいりました。行き届かぬ点多いかと思いますが、自校のお祝いを自分たちで考え実行するという意義は大きいと考えています。保護者の皆様には、引き続き子どもたちの取組の様子を見守り、サポートしていただけますと幸いです。

また、50周年記念事業実行委員会の皆様には、昨年度のうちから準備や検討を重ねていただきました。「子どもたちの思い出に残る行事となるように」と多くの時間とエネルギーをかけご尽力いただきましたことに心より感謝申し上げます。

【埼玉県学力・学習状況調査より】教育はお互いの信頼関係が基盤

前号に続き質問紙調査で顕著なものがみられました。児童と教職員の関係に関するものです。本校では「よいところを認めてくれた」と感じる児童の割合が高くなっています。

子ども時代に身近な大人にほめられた経験の多い児童は、成人後の自己肯定感が高い傾向にあることがわかってきました。児童と教職員の良好な関係は、今と将来に影響のある大変重要なものと校内で再度確認したところではあります。



例えば、楽しい授業を展開し教師が子どもたちに信頼されること、ひたむきに努力する子どもたちを大人が信じること。加えて、子どもの健やかな成長を保護者・地域住民・教職員が共に願い互いに信頼し合うことなど、本校50年の歴史の中で築かれてきた数多くの関係性により現在の今成小の姿があると実感しています。

さらに、この児童－地域－保護者－教職員4者の関係をよりよいものにできれば、子どもたちの可能性は一層大きく広がっていくでしょう。開校50周年は今後の今成小を展望する好機です。本校は、子どもたち、地域、保護者の皆様との信頼関係を深め、「一人一人が安心して自分のよさを発揮できる学校」を力強く推進してまいります。

ほめて認めて、叱って諭し、また、ほめて伸ばす